



客席に向かい堂々と歌やダンスを披露する受講生ら



### 胆沢区 瞳輝かせ子どもたちが熱演 ジュニアミュージカルスクールが公演

市内の小中高生が参加するいさわジュニアミュージカルスクールの公演が12月18日、胆沢文化創造センターで行われ、約700人の観客を魅了しました。

NPO法人劇団ゆう（滝沢村）の指導を受け、5月から練習を重ねてきた受講生。小学4年生以下が「マッチ売りの少女」に、5年生以上が「森と風の未来都市で…」に出演しました。高橋愛美さん（胆沢第一小4年）は「歌もダンスもちょうとできたよ」とっこりほほ笑んでいました。

### 江刺区 新年への期待を麺に込めて えさし郷土文化館でそば打ち体験

えさし郷土文化館で12月31日、年越し・そば打ち体験が行われました。これは、同区餅田産そば粉を使った同館の年末恒例行事です。

市内外から参加した53人は、同館学芸員の指導のもと「打ち」「伸ばし」「切り」に挑戦。参加者は新年への希望を込めてそばを打ちました。両親、妹と一緒に参加した滝川凌央さん（東水沢中2年）は「同じ太さに切るのが難しかった。年越しに家族みんなで食べます」と満足そうに話していました。

学芸員の指導を受けながら、そばを打つ参加者



### 衣川区 ことしも健康にとスタート 恒例の元朝マラソン大会

衣川中央体育会（高橋厚会長）が主催する第28回元朝マラソン大会が1月1日、衣川山村開発センターを発着点に、八幡神社までの往復4.5キロのコースで開かれました。

ことしは好天に恵まれ、一般男女、小中学生男女の6部門に131人が参加。どのランナーも新しい年への希望を胸に、駆け抜けました。水沢中学校陸上部の浅井峻雅君（2年）は「新年のスタートに自分の力を出し切れた」と白い息を弾ませていました。



好天に恵まれた今大会。参加者はものすごい勢いでスタートダッシュ

### 水沢区 笑いは人へと伝染るんです 吉田戦車さんトークショー



ファンへの色紙にサインする吉田戦車さん

本市出身の漫画家・吉田戦車さんのトークショーが12月10日、まちなか交流館で開催されました。

「伝染るんです」などの作品で有名な吉田さんのトークショーとあって、大勢のファンや市民らが来場。吉田さんは現在、自身の子育て体験を題材にした「まんが親」をコミック誌に連載中で、このイベントは同漫画の単行本の発売を記念して企画されたものです。子育てについての笑いを交えたトークは来場者を魅了していました。

この日は、参加料の一部が義援金となる「震災復興チャリティーサイン会」も実施。吉田さんは、来場者のリクエストに応じてキャラクターを描くなど、交流を深めていました。

### 胆沢区 わら細工の技術を次世代へ 南都田小学校で縄ない教室

小野寺わら工房（小野寺延吉代表）による縄ない教室が12月9日、南都田小学校で行われ、5年生児童39人が縄ないの技術を学びました。

同教室は、「農はだてのつどい」縄ない競技に向けて、いさわのまつり実行委員会が企画したものです。児童らは工房スタッフから手ほどきを受け、手足を器用に使いわらをより合わせて作成。1時間で25本の縄をなつた小原健士郎くんは「わらを足すのが難しかった。競技にも出てみたい」と話していました。

子どもら 手本を見せてもらい、熱心に縄をなう児童ら



三神楽を上演する地元の川内神楽保存会

### 衣川区 劇舞が華なら式舞は根っこ 南部神楽シンポジウム

南部神楽シンポジウム in 南股（南股地区会主催）が12月11日、南股地区センターで開催されました。南部神楽は岩手県南と宮城県北に伝わる神楽の総称で、今回はせりふのない「式神楽（式舞）」を取り上げた企画。

専門家による講演会や式舞の上演、シンポジウムが行われ、約250人の来場者は南部神楽の歴史と魅力について理解を深めました。菅原英記会長は「せりふありの『劇神楽（劇舞）』が好まれるが、儀礼の舞である式神楽を見直す機会となれば」と話していました。